

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

ロータリーを学び、
ロータリーを広げよう

高田ロータリークラブ
今年のスローガン

利他の心をもって、
超我の奉仕を



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度

国際ロータリー会長 シェカール・メータ

2560地区ガバナー 高尾 茂典

高田ロータリー会長 中田 正

幹事 箕輪 賢一

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：

齋藤祐介・星 則雄・堀井靖功・西條英夫

第 1 回例会 7 月 2 日(金)

No.1

『 歓迎 7 月 9 日 高尾茂典ガバナー公式訪問 』

会長挨拶

●中田 正



2021-22 年度高田ロータリークラブ会長を務めます中田です。この歴史と伝統のある高田ロータリークラブの第 67 代会長という重責を今、ずっしりと感じているところです。今年度高田ロータリークラブの会長テーマは「利他の心をもって、超我の奉仕を」です。100 年に一度と言われる疫病「コロナウイルス」の影響で、多くの人々がその人生を大きく変えたいへんな環境に追い込まれています。ロータリアンは、自分の利己的なことだけを考えるのではなく、厳しい環境に追い込まれた人々に思いをはせ、利他の心で、思いやる

ことが大切と考えました。

と同時に今までの自分からちょっと背伸びをし、自分自身を超えた奉仕をすることが、大切と思い、会長テーマを決めました。この理想に掲げるテーマは、皆様のご協力がなければ、実現できません。皆様のご協力、宜しくお願い申し上げます。



出席報告

98.08%

ビジター

第 7 分区ガバナー補佐
風間常樹彦君（直前訪問）

メイクアップ

中田 正君・箕輪賢一君・飯塚宏佳君・長谷川優太君・
細野 仁君・笹川 裕君・高橋俊宣君（7/1 高田 RAC
第 1 例会）

お客様スピーチ



第7分区ガバナー補佐
風間常樹彦君（越後春日山 RC）

委員会報告

出席ニコニコBOX員会

会長・幹事：今年一年よろしくお願い致します
ガバナー補佐風間常樹彦君

幹事報告

配布物：週報No.42、ガバナーレターVol13、クラブ
協議会資料、ロータリーの友7月号

回覧物：ガバナー月信 7月号、
新会員推薦カード 3枚

報告：7月のロータリーレート 111 円/\$、
7/9 ガバナー公式訪問について

セレモニー



入会式 猪股耐真男君
東北電力ネットワーク(株)
上越電力センター所長

クラブ協議会 ① 2021-2022 年度 会長方針・委員会事業計画発表

クラブ協議会配付資料をご参照ください。



中田会長



S A A 石倉委員長



クラブ奉仕A 高橋委員長



職業分類・ロータリー情報委員会 高坂委員長



会員増強委員会 大島委員長



会員選考委員会 大谷委員長



衛星クラブ委員会 牧野委員長



クラブ奉仕B 山田委員長



社会奉仕委員会 橋詰委員長

中田会長

10の活動方針を明示させていただきました。

10番目の方針「すべての活動がみんなにとって楽しく、笑顔になるように行いましょう。」を基本にすべての奉仕活動を行ってください。楽しそうに何かをやっている、関心を持って集まってくる人がおり、また、楽しみながらやっていることが知らず知らずのうちに、人のためになっているそれがロータリーの活動だと思います。1番目から9番目の方針をベースに、それぞれの担当委員会委員長が中心となって「利他の心をもって、超私の奉仕活動」を行ってください。

S A A

委員長 石倉 悟

副S A A 橋本眞孝・佐藤憲二・高橋俊宣

※活動指針

ロータリーの基本活動である例会が、秩序正しく、楽しく、和やかに開催されることを目標にS A Aとして進めていきたい。

- 1 コロナの感染状況に応じた例会の進行や、食事の取り方を、柔軟に対応する。
- 2 例会場開場時間を12時からとし、例会前の会員同士の交流の場として活用したい。
- 3 座席指定も有効活用し、歓談のチャンスを多くしたい。[方法については検討]
- 4 衛星クラブ会員、ローターアクトクラブ会員、また、新会員、来訪者が例会参加時においても彼らが孤立感を持たないよう配慮する。
- 5 例会時には携帯電話をマナーモードにするか、電源を切るようにする。
- 6 卓話者に失礼のないよう中途退場や、私語を禁止する。
- 7 当日欠席が後を絶たないため9時半までの連絡を徹底していただく。昼食の変更可能な時間までの連絡。

クラブ奉仕A

委員長 高橋正彦

※運営方針

ロータリー活動を進めるには、会員増強が重要だと思います。

会員数を維持し増強をしなければ、組織は衰退するのみです。

職業分類・ロータリー情報、会員増強、会員選考、衛星クラブの4委員会と協力・連携して、高田ロータリークラブの将来を担う若い世代・女性会員・衛星クラブの入会を推進し、「会員自身が誇れるクラブ・楽しく意義のあるクラブ」を目指し、会員への情報を発信してロータリー活動への積極的参加、会員増強に努めてまいります。

職業分類・ロータリー情報委員会

委員長 高坂光一・副委員長 大島 誠・委員 牧野章一

※運営方針

中田会長テーマ「利他の心をもって、超私の奉仕を」は、会員互いに尊重し合い質の高いロータリー活動を目指すものと捉え努めてまいります。

※事業計画

- 1) 新会員1名に対し現会員1名をサポートに指名し、一日での早く高田ロータリークラブに溶け込めるよう配慮をお願いします。
- 2) ロータリー活動への理解を深めるために、新会員を中心に入会3年未満の会員を対象としたファイヤーサイドミーティングを開きます。
*会員は高田ロータリークラブ及び高田さくらロータリー衛星クラブに所属する皆さまです。
- 3) R I 規約変更等、事象が起こった際は適宜報告いたします。
- 4) 上期・下期に会員増強委員会と連携を図り、職業分類の現状を確認します。

会員増強委員会

委員長 大島 誠・副委員長 高坂光一・委員 中田 正・箕輪賢一

※運営方針

中田会長が提唱される、ロータリークラブの公共イメージの向上と会員拡大を同時並行で実施する。具体的には、現会員が非会員を例会に同伴して出席いただく機会を設け、ロータリー活動への理解を頂きながら、入会のきっかけづくりとしたい。

※事業計画

1. プログラム委員会と連携し、特徴ある卓話が予定されている例会に 現会員が非会員を（入会の勧誘を

- 前提とせず) 同伴して出席を頂き、ロータリークラブ活動の理解者を増やす。
2. 例会への同伴出席は、年間で会員各1名を目標とする。同伴者のメイク料は無料とする。
 3. S A A、プログラム委員会と連携し、同伴例会の実施日を年間6日設ける。
 4. 会員拡大の目標は高田クラブ 純増3名(内 女性会員1名)、衛星クラブ 純増 4名(内 女性会員2名)を目指す。

会員選考委員会 委員長 大谷光夫・副委員長 福田 聖

※選考基準

ロータリーの中核的価値観

親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ を身につけている、または 今後身につけていただけそうな方々を選考基準とします。

※運営方針

1. 会員増強委員会と連携を取ります
2. 理事会より候補者に異議が出た場合は手続きを中止します
3. 認否判定に「否」が出た場合を想定し候補者には入会推薦していることは伝えないようにお願いします(候補者とのトラブル回避)

衛星クラブ委員会 委員長 牧野章一・副委員長 高橋正彦

※運営方針

高田さくらロータリー衛星クラブの皆様には会長テーマ「利他の心をもって超我の奉仕を」体感していただき、高田ロータリークラブ(以下「親クラブ」)入会への道筋創りを行います。

※事業計画

1. 月2回の例会の内、1回を親クラブとの合同例会とします。また、夜例会の積極的な参加をうながし交流を深めます。
2. 衛星クラブ独自の社会奉仕活動へ親クラブ・ローターアクトクラブの協力を得てクラブの一体感創りを図ります。(連絡・調整など)
親クラブ主催の社会奉仕の参加を働きかけます。(事前に趣旨内容・日時の徹底)
3. ファイヤーサイドミーティングなどでロータリアンの育成に努めます。
4. 衛星クラブ会員4名を増強します。
5. Facebook へ月2回投稿し広報します。

クラブ奉仕B 委員長 山田 守

※運営方針

中田会長テーマ「利他の心をもって、超我の奉仕」を基にロータリーの楽しさを実感できるように、4委員会(出席・ニコニコBOX、プログラム、親睦、広報・会報・雑誌)を支援していきます。

※事業計画

前期、後期に合同委員会の開催。

社会奉仕委員会 委員長 橋詰敏一・副委員長 霜村 浩・委員 遠藤 巖・横山修一

※運営方針

- ・ロータリー社会奉仕活動を積極的に社会にPRし、ロータリーの認知を高める方策を実践します
- ・ロータリー衛星クラブ、ローターアクトクラブと共に積極的に社会奉仕活動を展開します。

※事業計画

- ・「ロータリー奉仕デー」に合わせて、「環境保全」の視点より、地域河川(儀明川もしくは、青田川を中心に)にて清掃活動を行うと共に、川(水辺)に開かれた地域環境の重要性をPRします。
- ・前年度に取り組み、大きな成果を上げた障がい者アートのPRとそのグッズ化、作品の販売の収益を困窮者支援として「フードバンクじょうえつ」に寄付する活動、「フクシ×アート×デザイン展」を開催します。
本活動は2560地区ロータリー財団地区補助金事業として運営します。
- ・活動資金の充実を目的に継続事業である「オークション」を親睦委員会、出席・ニコニコBOX委員会と協力して開催します。
- ・奉仕活動PR用に、野外用ベスト、のぼり旗等準備します。